

バスケットに夢中！
目標は北海道カップ（4月）



当別中学校

1月8日北海道中学校バスケットボール
新人大会南北決戦で第三位（江別市）

男子バスケットボール部

南北海道大会で1点差の初優勝

部員 10名の当別中学校男子バスケットボール部が、10月に石狩管内の大会で優勝したのを皮切りに12月の南北海道大会でも優勝。南北決戦大会でも堂々の3位と活躍していますが、どうやって強くなってきたのでしょうか？

部員が少ないため、試合形式の5対5の練習がなかなか出来ません。受験を控えた3年生、4人の力も借りてなんとかこまできました。今度の新生をなんとか勧誘しなくては。平日の練習時間は1～2時間程度ですが、シュート練習は特に時間を割いてやっています。週末はほとんど練習試合で、旭川でも行きます。

一昨年の新人戦（現3年生が2年生の

時）に初のBEST4に進出できました。管内中体連で優勝した時は、「バスケットは楽しい」と思いました。期末テスト直前に旭川遠征があり、その後1週間練習を休み、12月中旬まで調子が戻らず苦労しました。大会本番に入って調子が徐々に上がってきた感じです。（安房純吾キャプテン）

南北海道大会で江別第二中、恵庭恵み野中と対戦した時は、相手のペースに押され、苦戦。「ここで行かないと終わる」と思った。監督からは「もっと走れ！」と指示が出て、きわどく決勝シュートが決まった。（浜尾宗総副キャプテン）

次の大会は4月に千歳市で行われる北海道カップ。そこでは昨年全国優勝した埼玉県のチームを含

め、今大会上位3チームでリーグ戦を行う全国レベルの大会です。当中チームは他に比べて部員も少ないし、平均身長でも見劣りしますが、体で当たり負けしないように、泥臭く試合を進めることがウリです。みんなケガを防止するための足首のテーピングの習慣も身につきました。試合運びは個人に頼る部分が多いが、これからはチーム力を高める練習が何より大切です。（森野泰宏監督）

北海道カップでは全勝を目指して頑張ります。これまでは失点も多く、ディフェンスをもっと固めると同時にシュートの精度を上げることが目標です。メンバーの両親、保護者がいつも応援に来てくれ、感謝してます。勉強や普段の生活もがんばって、恩返しできれば！（メンバー全員）

■ 1月16日取材